

ふるさと大曲

題字 濱谷一男

平成29年7月発行 発行所：〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(3341)6339 FAX 03(6273)0081 eメール：info@e-prosjp.com http://www.supportlife.info



5月中旬の田沢湖高原は遅い春真っ盛りだった



“大曲の花火”春の章 より



まるびちゃん

世界へ飛翔する“大曲の花火”

首都圏大曲会 会報

第23号



“大曲の花火”春の章 より

秋田県特別栽培農産物認証

内城菌パワード
うちしろきん

こだわりの

有機米

『アキタコマチ』

安全・安心

食感が自慢です。

アキタコマチは

今年も

沃(こ)えた仙北平野で

順調に

育っています。

*内城菌農法

画期的なパワーを發揮する内城菌は、
従来厄介者として処理されてきた食物、
魚肉、野菜等から出る生ゴミを、有機
肥料としてリサイクルします。これで
土壤は生まれ変わり、植物は栄養分を
吸収し易くなり、ここに有機肥料によ
る「内城菌農法」が可能となります。
生産者佐藤久男氏のこだわりは、こ
の肥料を使って生産する安全・安心の
有機米『アキタコマチ』です。



有機米『こだわり米のアキタコマチ』Fax注文票

ご注文Fax番号⇒ 0187-62-5614

特別栽培こだわり米	5kg袋	10kg袋	25kg袋
①減農薬 化学肥料不使用 (内城菌有機肥料のみ散布土壤)	3,000円 (　個)	5,000円 (　個)	11,500円 (　個)
送料ご負担分	1袋200円	1袋200円	1袋400円
②減農薬 化学肥料40%使用 (内城菌有機肥料+化学肥料散布土壤)	2,300円 (　個)	3,800円 (　個)	9,000円 (　個)
送料ご負担分	1袋200円	1袋200円	1袋400円
ご注文合計数	(　個)	(　個)	(　個)
品物+送料合計	円	円	円

ご住所⇒ 〒

お名前⇒

*新米ご予約の方は○印⇒ □

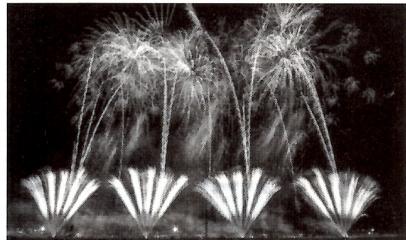
電話⇒

◆販売量に限りがございます。売切れの節はご容赦願います。

今年も「こだわりのアキタコマチ」は、刈取り後の10月から販売を開始します。

ただいま新米の予約ご注文も受け付けております。どうぞご用命ください。

〒014-0103 秋田県大仙市高闘上郷字高屋敷42 生産・販売者 佐藤 久男
電話0187(66)1702 Fax0187(62)5614



大曲の花火～全国花火競技大会～
開催日：2017年8月26日(土)
会場：雄物川河川敷

11月18日(土)～19日(日) 於：有楽町駅前広場

ふるさとフェア 大仙市

大仙市各地区の特産品・新鮮な農産品・ご当地グルメ・観光情報や伝統芸能など、大仙市を代表するすべてをまとめて、首都圏の皆さまにお届けします。

都会で好評のいぶりがっこを初め漬物各種、みそ、甘酒、酒まんじゅう、ジャム、おやき、キリタンボ、はちみつ、新米のアキタコマチ、野菜各種、大福、豆腐かすてら。そして大仙市内の蔵元9社揃って秋田銘酒がずらり。

首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』第23号 目次

◇平成29年度 首都圏大曲会総会・親睦会

会員を増やし 更なる仲間の結束を目指す 4

第16回国際花火シンポジウム

世界38か国から 桜咲く大仙市に精鋭集う 6

大仙市史上 初の本格的な国際会議（国際花火シンポジウム） 8

◇この人を訪ねて 賢木 新悦さん（実行委員会総括責任者）

□第91回 大曲の花火 27社が競い合う世界一の大会 10

□第8回 東京で『大曲の花火』を観る会

二月の東京で夏の夜の大曲を想う！ 12

□大仙市で活躍する企業訪問シリーズ⑬

本格的な手造りドイツソーセージ 株嶋田ハム 16

ふるさと納税にご協力を！充実の返礼品	20	ふるさとの話題から	15
花火の街から 市長に老松博行さん就任	21	思い出の中の大曲	27
がんばってま～す・仲間たちの話題	25	編集後記	27

◆カメラ紀行（田沢湖高原——春と初夏のはざまで） 斎藤 貞助 22

写真協力・大仙市、斎藤貞助、斎藤のりこ

仲食 内食
なかよく食事
便利に食事
愛情いっぱいの食事

おうちで食べよう



株式会社 タカヤナギ

GRAN MART

akayanagi
Quality Life Partner

平成29年度 首都圏大曲会総会・親睦会

恒例の帝国ホテル東京「光の間」を会場に

更なる仲間の結束を目指す!

平成29年度首都圏大曲会総会・親睦会が、7月29日午前11時30分より、帝国ホテル東京で開催されます。今年大曲会は、結成29年目を迎え、来年は30年という記念の年になります。

この間に首都圏大曲会も、大曲市など8市町村の合併により大仙市として再出発して大きく飛翔したように、ふるさと会としての性格を徐々に変化させてきました。

それは故郷を懐かしい思いに接するだけでなく、私たちは故郷と価値観を共有することで、故郷の発展に少しでも寄与できる行為・活動をするという意識に立つたことです。そのために会員の増強と結束を計り、各ふるさと会との連携を密にして、会員の増強と結束を計りました。首都圏大曲会はその中核となつて、活発な活動の展開が期待されているのです。

【活動方針と趣旨】

私たちの大仙市は、平成17年3月、隣接する8市町村が合併して誕生しました。早いもので今年は13歳。人間で言えばいよいよ花の青春に差し掛かって、まさにお年頃の少年少女ということになります。

いよいよ知識、教養、経験を蓄え、体力もついて来て、勇躍社会に乗り出すための準備切つたということになります。

私たちはこのような時代を迎える、そこに生きるために、より新しい情報や知識を身につけ、それにともなう知恵や価値観を活かしていくことが大切です。

◇

【平成29年度の主たる活動】

① 平成29年度総会・兼 懇親会を開催

7月29日、帝国ホテル東京・光の間で開催。総会終了後、会員懇親会

② 第9回「東京で『大曲の花火』を観て、カラオケを楽しむ会」を開催

大仙市産業構想の柱である「大曲の花火」を平成30年2月18日(日)午後1時より市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で開催

共に悩み、共に故郷の発展を願い、努力する意識・姿勢を持つことが大切であることを強く認識したいと思います。

- (3) 首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』発行
- 首都圏大曲会会員の年間を通して連携を保つことを目的に、会報『ふるさと大曲』を年二回発行する。な
- お必要に応じて臨時増刊号を発行する。

【活動の目的】

一、首都圏に住む旧大曲市出身者、居住地に関わりなく首都圏大曲会設立の趣旨賛同者で構成する

二、大仙市並びに各団体組織、企業、また一般市民と連携を保ちつつ、相互の情報を密にしながら大曲地域の発展に努力する

三、首都圏大曲会会員の総意を尊重しつつ、大仙市各ふるさと会との連携を進め、相互協力体制の強化を図るとともに、親睦に努める

四、「大仙市ふるさと物産フェア」へ協力

11月18日～19日の二日間、有楽町駅前広場で開催される「大仙市ふるさと物産フェア」に協力

五、年次会、地域団体等との連携を図る

首都圏大曲会会員増強を目的に、各地区年次会や、地域で活動する組織・団体との連携を図る。情報交換を行いながら相互発展、充実を目指す

六、大仙市ふるさと会懇話会や各ふるさと会の活動に参加

毎年6月に開催される「大仙市ふるさと会懇話会」は、各ふるさと会の現況を発表し合いながら、その対策や問題点の解決策等の意見交換等で貴重な会となつていて

七、その他の事項について

また各ふるさと会総会には積極的に参加する

八、その他

は臨機応変に対応する

秋田県民歌

作詞 倉田 成田
作曲 為三 政嗣

秀麗無比なる 鳥海山よ

狂瀾吠え立つ 男鹿半島よ

神秘の十和田は 田沢とともに

世界に名を得し 誇りの湖水

山水皆これ 詩の国秋田

二廻らす山々 靈気をこめて

斧の音響かぬ 千古の美林

地下なる鉱脈 無限の宝庫

見渡す広野は 渺茫霞み

黄金と実りて 豊けき秋田

大仙市民の歌

作詞 花岡 橋本
作曲 祥路 恵

『夢・この大地』

一緑あふれる この大地

けだかくそびえて 鳥海山

おおきなせなかに 夢をのせ

未来に羽ばたく 若い街

一生命はぐくむ この大地

豊かに流れて 雄物川

夜空に舞う華 美しく

こころふれ合う 夢の街

乳頭温泉郷

黒湯温泉

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-1
TEL 0187-46-2214 FAX 0187-46-2280
HP <http://www.kuroyu.com>



大曲商工会議所
会頭 佐々木 繁治

〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町1-13
TEL 0187-62-1262 FAX 0187-62-1265
E-mail : kaigisho@omagari-hanabi.com
URL : <http://www.omagari-cci.com>

華やかに市民参加の国際会議

2年に一度、世界の花火師や研究者を初めとする花火関係者が一堂に集い、研究成果の発表などをを行う「国際花火シンポジウム」が、4月24日から6日間、大仙市で開催されました。これに合わせて行われた「大曲の花火～春の章～」は、「世界の花火 日本の花火」をテーマに4日間で合計3万3千発の華麗な花火が打ち上げられました。海外からの来会者とともに花火見物の観光客も多く、折から咲いた桜に大仙市は、国際感覚で華やいだ6日間でした。

国際花火シンポジウムは、文字通り国際会議。大仙市にとって国際会議はこれが初めてのこと。招致を目的に立候補した海外の都市を退け大仙市への招致を成功させた背景には、大仙市の発展に夢を託



花火関係者が に集う!

人気のまるびちゃんと一緒に記念撮影も大仙市の思い出に

す「大仙市花火産業構想」が脈々と息づいていたのです。シンポジウムには世界の38の国と地域から400人を越す大勢の花火関係者が参加しました。日本の北方都市である大仙市に明るい春が訪れる大仙市に明るい春が訪れる大仙市市民も大変嬉しそう。大仙市役所、大曲商工会議所の関係者は勿論、市民ボランティアの献身的な活躍も目を引き大曲のおもてなしは大好評でした。

市内の保育園の園児、小・中・高校の児童生徒も、シンポジウムの盛り上げ役として参加。日本文化体験プログラムのおもてなし、オブショナルツアーや先でのガイドなど、海外からのお客様との交流を深めて大仙市のイメージアップに大きく貢献しました。

この大きな企画だったため、前年から栗林市長（当時）は、あらゆる場所でPRされ、全市あげての準備で関係者の方々は大変だつたのではとお察しする。24日～29日迄の期間に、毎日夕方7時から花火が打ち上げられ、29日はグランドフィナーレということ

世界をリードする 日本の花火パワー

「国際花火シンポジウム」観賞

大友律子





①は太鼓ヒカリオで開催された
和太鼓のパフォーマンス、②は、
物珍しさも手伝い、陽気に会場内
を散策する海外からのお客様



大曲のまちの夜空を圧倒する世界の花火　迫力を感じる



日本のおつまみを片手に、
スマホと日本酒とはお忙しい



大仙市民と同じテーブルで
食べる焼きそばの味は？



会場で出会った外国のお客さま
子どもたちも国際親善に一役です

世界38か国 400人を超える 桜咲く大仙市

をテーマに行われた「大曲の花火（春の章）」には、夏の花火で内閣総理大臣賞を受賞した国内8社をはじめ、カナダ、スペイン、中国、イギリス、メキシコの5か国から7社が参加しました。

花火は、暑い時に見るのが一番と思っていたが、今回は「大曲の花火（春の章）」ということなので、寒さを覚悟しながら、四季の初めの「春の花火」を見ることとなつた。夏花火とどうしても比較してしまうのはお許し頂きたい。会場はとにかくサッピィ！（寒い）のである。寒がりの私は、ホカラシ数個を貼り付けてもまだ寒いのは、会場がパイプ椅子のせいでもある。椅子数は、夏花火の棧敷数の3分の1程の数が準備されていたようと思えた。その分、入場・退場はスムーズだった。

世界の花火は、それぞれに趣向を凝らしていたので楽しく、美しいものであったが、日本の花火師の技・粋の水準は、世界一ではないかと身びいきではなくそう思つた。ほとんどの新作花火は、創造花火が一層進化されたものが多かりだつた。夏の「花火大会」が楽しみである。

桜の時期に花火を見、美味しい秋田のお酒を飲みながらの花火鑑賞は、なかなかおつで贅沢な一時であった。（首都圏大曲会副会長）

ていた。私たちは、幸いにも29日に見ることが出来た。

の外国人が参加

16th International Symposium
on Fireworks



2017

大仙市史上本格的な国際会議

初の



賢木新悦实行委員会総括責任者

この人を
訪ねて

全国花火大会実行委員会副実行委員長
第16回国際花火シンポジウム
実行委員会総括責任者

賢木新悦さん

世界各国の花火業者、花火研究家が集う「国際花火シンポジウム」。その第16回大会が今年4月24日から29日まで、大仙市で開催されました。シンポジウムには世界38の国と地域から449人の花火関係者が大仙市に集い盛況をきわめました。そこで大会誘致から開催の運営を仕切り、努力された実行委員会総括責任者の賢木新悦さんに、今年の「大曲の花火」を含めて伺いました。

大曲の花火サミットの開催は、今年世界に向けて大きく前進しました。4月25日から29日まで大曲地区を中心に行なわれた「第16回国際花火シンポジウム(国際花火サミット)」は、大盛況のうちに終了しました。主催側の関係者のみなさんを初め、ボランティアを買って協力してくれた多くの市民のお陰です。心から感謝します。

前進した「大曲の花火」
世界に向けて大きく
大成功、おめでとうございます。

第16回国際花火サミットの開催は、今年世界に向けて大きく前進しました。4月25日から29日まで大曲地区を中心に行なわれた「第16回国際花火シンポジウム(国際花火サミット)」は、大盛況のうちに終了しました。主催側の関係者のみなさんを初め、ボランティアを買って協力してくれた多くの市民のお

外国からの参加者も随分多くつたと聞いています。

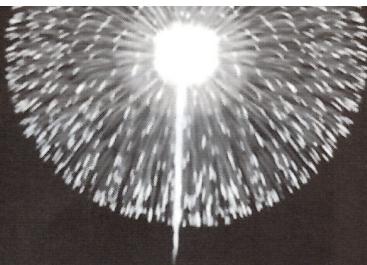
賢木 参加国はアメリカ、スペイン、ドイツ、イギリス、フランス、オランダ、オーストラリア、中国など37か国と地域、449名の方が参加してくださいました。その間、大曲市民会館は外国人の参加者でごった返し、旧大曲市を含め大仙市史上初めての、本格的な国際会議でした。

凄いですね。それを聞くだけで大変な国際会議だったことが分かります。シンポジウムでは何が行われたのですか。

日本からは、どんな発表を行いましたか。日本からは、どなたが、どんな発表を行いましたか。

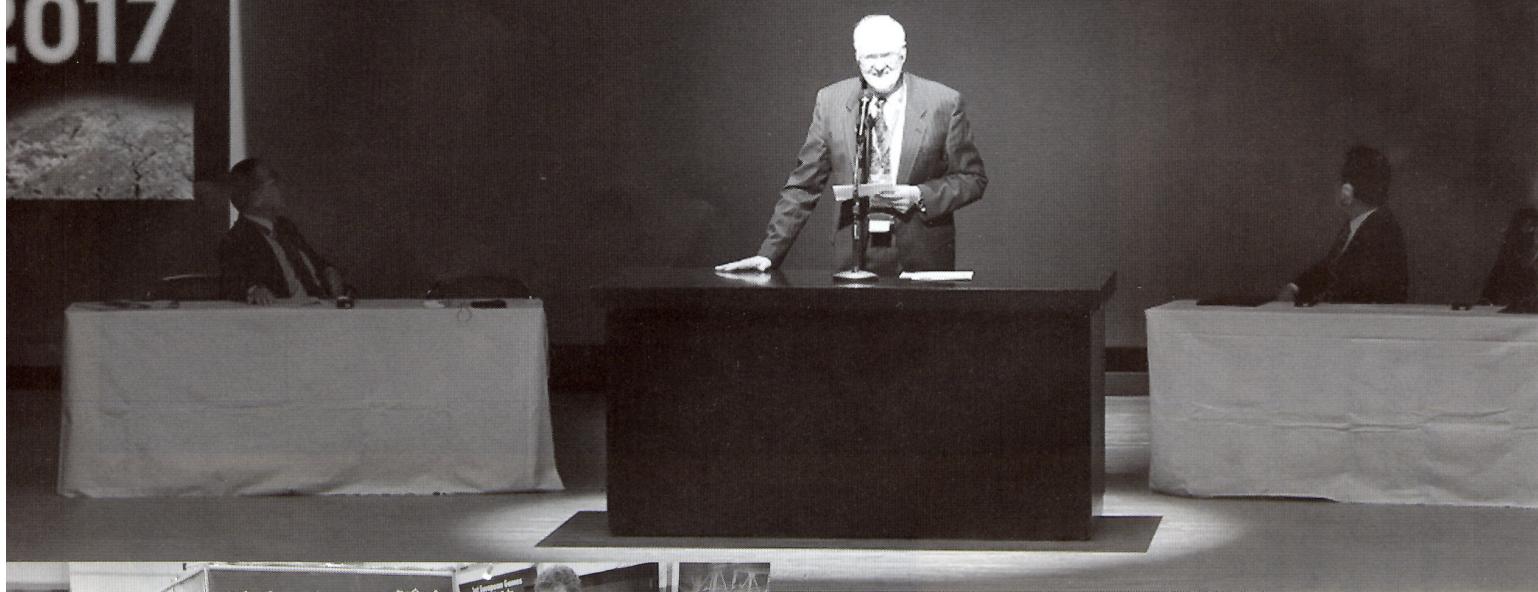
賢木 日本からは、シンポジウム実行委員会委員長、大曲商工会議所の佐々木繁治会頭が、「大曲の花火」の歴史と、競技の審査基準などを報告しました。またもう一人は、大曲商工会議所副会頭の一人、小松煙火工業代表取締役の小松忠信さんが、大仙市や大仙市商工会などが連携して進めている「大仙市花火産業構想」を紹介しました。

トレードショウ(商談展示)

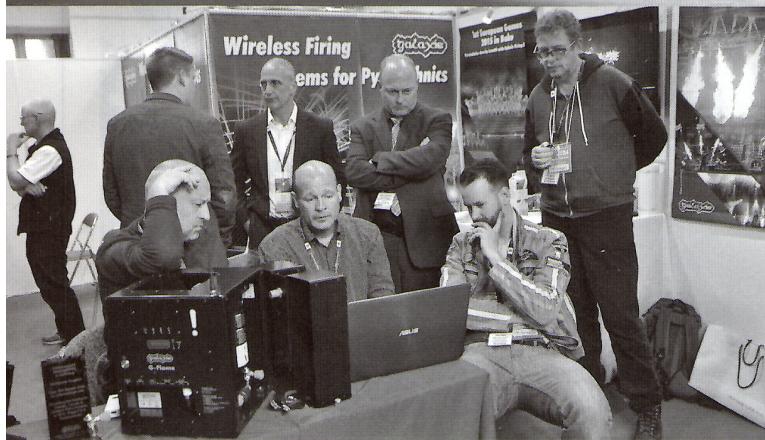


The Land of the Rising 寸 sun

37か国、449名



挨拶をするシンポジウム会長代行のロジャー・シュナイダーさん(アメリカ)



トレードショウ(商談展示会)に見えた外国からのお客様

会も行つたそうですが……

行つたそうですね。

賢木 期間中は大曲交流センターで、最新の花火関連機器等の展示によるトレードショーも開催しました。世界から38ブースに参展がありました。新しい品の展示もあり、参加者の最新のトレンド(動向や流行)を見極める熱い視線がありました。

28日には、正装で集うガラディナーがグランドパレス川端で開催されました。そしてこここの屋上で折からの花火を観賞しました。

「大曲の花火（春の章）」は「世界の花火 日本の花火」をテーマに、4日間に拡大して

デイナーがグランドパレス川端で開催されました。そして

こここの屋上で折からの花火を観賞しました。

世界に誇るこれら8人の花火師たちは、幅300m、色彩、形、タイミング、音楽で観客を圧倒したものです。また日本の花火の特徴は、鮮やかな色、ストーリー性、時間差、燃焼の切れにあります。世界的花火は、正確なコンピューター制御の打ち上げ、圧倒的な物量等々に各国の特徴が出ていました。

日本の花火に感動した外国人客や花火師から、今回のシンポジウムの継承事業として国際的な花火大会の継続開催の要望がありました。老松市長や佐々木実行委員長は記者会見で、前向きに検討したいとの発言がありました。老松市長には期待が集まります。

花火の街・大曲の面白躍如たるものがありました。夏の大会の成功も併せてお祈りします。有難うございました。

賢木 これは圧巻でした。世界の代表は、カナダ、スペイン、イギリス、中国、メキシコの5社。迎える日本代表は大曲の花火で内閣総理大臣賞を受賞した、紅屋青木煙火店、野村花火興業と小松煙火工業の8人の花火師です。

世界に誇るこれら8人の花火師たちは、幅300m、色彩、形、タイミング、音楽で観客を圧倒したものです。また日本の花火の特徴は、鮮やかな色、ストーリー性、時間差、燃焼の切れにあります。世界的花火は、正確なコンピューター制御の打ち上げ、圧倒的な物量等々に各国の特徴が出ていました。

第91回 大曲の花火

5年に一度 出場花火師入れ替え年

打上げ場や足場の悪い観覧席場も整備

さて、第91回全国花火競技大会は、今年8月26日、大仙市大曲の雄物川河川で開催されます。出場花火師は、5年に一度の入れ替えがあります。今年は厳選された3社が新たに加わって、27社の出場が決定しました。

特に今年は、国際花火シンポジウムの花火が素晴らしいことから、花火師のみなさんが大いに刺激を受けました。これこそが日本の花火たる作品だという、世界一の花火をあげると張り切っています。熱い期待が重なります。

打上げ場の整備は、昨年に引き続いだ工事をしました。1000mにわたる打上げ場は日本一であるばかりでなく、恐らくは世界一になるでしょう。打上げ場での車の異動もスムーズに出来て、多少の雨でも打上げ場の設置、そして打ち上げが可能です。

また観覧席場も、足場の悪かった上流側を整備しました。

大会テーマは「行雲流水」
「日々新たに、又日に新たなる姿、いと美しきなり」



大曲の花火～春の章～
楚々とした中の美しさ



第16回 国際花火シンポジウム開催記念
「Welcome to Daisen」

上、ステージで歓迎の大太鼓
下、まるびちゃん記念撮影



桟敷席ですが、従来観覧席場の両側にあつた自由席は、今年から有料になります。

従来自由席には、警備、トイレ等に多くの経費がかかっていましたので、有料化したこととは、環境整備資金として理解頂くことになったものです。「大曲の花火・春の章」に引き続き、大曲花火大橋から姫神橋までが有料になります。大会のスムーズな運営にご理解をお願いします。

好評の大会提供花火
「生命（いのち）のまつり」
「その姿、いと美しきなり」

今年の大会テーマ

行雲流水（こううんりゅうすい）

日々新たに、又日に新たなり



国際花火シンポジウムの成功は夏の大会にも刺激を与え、豪華絢爛の絵巻を大曲の夜空に描くことだろう

りりです。「大曲の花火」は常に進化し続ける日本の花火を応援し続けます。
そして毎年好評をいただく大会提供花火は、「生命（いのち）のまつり」～その姿、

いとしきなり～です。大仙市地元の花火師が、作曲家齋島邦明氏の音楽に合わせて、900mにわたるスケールで、岡本太郎の世界を表現し、打ち上げます。

昨年の内閣総理大臣賞を受賞した茨城県の野村花火工業が、特別プログラムとして「美しき世界」を打ち上げます。

国際花火シンポジウムで見せた、世界の人々が感動したあの花火が期待されます。

未成年の方にはお酒をお販売しません。

ひでよし——ひょうたん
お酒を注ぐ時に聞こえる「こぼこぼ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。



秀ば
（名鈴木酒造店）

大仙市長野字二日町9
電話0187-56-2121

故郷でのお集まり、お泊りに
西根の湯っこで遊ったりのんびり喜ぶ顔がみたいから

姫神温泉

スパ西遊喜

大曲西根字鳥居215-9
tel 0187-68-2639

第8回 東京で『大曲の花火』を観てカラオケを楽しむ会

冬晴れ 二月の東京で

夏の夜の大曲を想う！

毎年夏に開催される「大曲の花火」は、その豪華・華麗さにおいて他の追従を許さないものがあります。首都圏大曲会は、夏に帰郷出来なかつた会員のために、DVDでこれを観賞する「東京で観る会」を開催しています。今年で第8回を迎えて、2月19日、アルカディア市ヶ谷で賑やかに開催しました。

花の東京で「大曲の花火」を観る会を持つなどと言うと「本当か？」と目を丸くして驚く人がいます。「首都圏大曲会の主催で」と言うと「なあ」「んだ」と呆れたような顔をされますが、私たちはこれをD

V Dの映像を使うことで実現しました。早いもので今年は第8回の開催でした。

「大曲の花火」は、国際花火サミットまで開催されて、今や国内は言うに及ばず、文字通り国際的に有名になりました。

た。大曲が近隣市町村による平成の大合併で、市の名称は大仙市に変りましたが、伝統ある「大曲の花火」の名

称は燐然と輝き、現在に繋がっているのです。「大曲の花火」は、まさに大仙市の伝統ある文化として世界

ふるさと会の活動として、そして私たちの貢献できる力の範囲で、ふるさとの大曲に寄与できることはないだろうか、私たちは常に考えてきました。そこで思いついたことは、大曲の誇りであり、文化

に名を馳せると言つても、決して過言ではありません。

でもある「大曲の花火」を東京で宣伝し、「大曲の花火」をまだ見たことのない人たちに紹介して、少しでもアピールできないだろうか。大曲へ旅行する人を掘り起こすことの大手伝い。「凄いなあ、一度は大曲へ花火を見に行ってみよう」という人を一人でも開拓できれば嬉しい、といった、ごく素朴な願いでスタートしたものです。

大仙市との連帯で



(上)大曲中学校卒中良野会の仲良しの仲間たち
(下)「都わすれ」の京子女将が話の中心になれば座席は一段と明るくなる。上は「東京で大曲の花火を観る会」のホテル内の案内



最初は幹事を入れても30人にも満たない寂しいイベントでしたが、だんだん回を重ねるにつれて30人、40人と増えていきました。それには、活動の意義を理解してくれた大仙市高闘の佐藤久男さんが、

参加賞として、佐藤さんの「こ

だわりのアキタコマチ」を提供してくださったことや、大曲商工会議所副会頭の賢木新悦さんも、大曲の花火をテーマに講演などの協力をしてくれました。乳頭温泉郷「妙之湯温泉」の佐藤京子女将も毎年参加して声援を送ってくれ

れます。勿論大仙市役所も毎年職員を派遣してくださり、側面からの応援で効果をあげています。去年今年はは60人を越す参加者で大いに賑わいました。大曲中学校年次会の中良野会が参加してくださることも

大きな刺激になりました。この会の高階義光さんが制作するDVD「懐かしの大曲シリーズ」は好評で、私たちの子ども時代の大曲の一部を切り取つて、懐かしく思い出させてくれます。



懐かしい顔が揃いました。この会のために大曲から参加してくれた人も見えます。@ふるさと太田会のみなさんは友情参加ですね。有難うございます

「大曲の花火」は在京メンバーにとってはふるさとの誇りです。花火を観ながらおしゃべりすれば大曲出身でなくとも大曲人になるから不思議ですね。



秀ば

(名)鈴木酒造店

未成年の方にはお酒をお販売しません。

大仙市長野字二日町9
電話0187-56-2121

ひでよし — ひょうたん

お酒を注ぐ時に聞こえる「ごぼごぼ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。

本醸造生貯蔵酒

300ml ¥389(税込)

いつもありがとうございます
おかげ様で40周年!

SHIMADAHAM

ドイツ伝統製法ソーセージ&ハム

株式会社 嶋田ハム

各種贈答品承ります

TEL.0187-62-3278 平日 9:00 ~ 17:00

大曲中学校を昭和29年卒業の年次会は中良野会（なからのかい）と言います。「懐かしの大曲シリーズ」制作に取り組む高階光義さんも会員のひとりです。今回は大曲・冬の風物詩「花館・川を渡る梵天」を取材して作品に仕上げました。

「川を渡る梵天」について、大仙市風物詩「高階光義さん制作」シリーズ③

大仙市の風物詩 高階光義さん制作

「川を渡る梵天」

スクリーンに映し出された映像は、二月のこの時期にしては珍しく、薄日が漏れる穏やかに春めく日でした。しかし両岸に降り積もった雪の岸壁は厚く、漕ぎ行く舟には、色鮮やかな梵天が屈強な男たちに支えられて、すぐ近くまで来ている春を呼ぶ、雪国

の祭の華やかな詩情が漂っていました。

「川を渡る梵天」について、大曲に住む高階さんの弟光智さん

の手紙では、次のように解説さ



DVDの映像を見ながら解説をする高階光義さん(中良野会)

れています。

『この神事は「伊豆山神社・川を渡る梵天」として平成11年、大仙市無形民俗文化財に指定されました。川を渡る梵天は全国的にも珍しく、

雄物川に映える梵天と、背後の西山の雪

景色が織りなす光景は豪華な絵巻のよ

う

伊豆山神社の社殿は延歴年間

(782～806)

に、坂上田村麻呂が蝦夷征伐のため伊豆山に留まり、賊軍を平定した靈場として不老山神社と呼ばれました。大同2年

(807)に建立され、天正年間(1573～1591)伊豆

山神社に改称。「川を渡る梵天」奉納最古の記録は嘉永年間で、それ以前から梵天祭は行っていたことが考えられます。



カラオケの好きな人は実際に多い。出席者たちも歌が始まると、聞き惚れるひと、歌いたくてウズウズする人と賑やかな情景が繰り広げられる

大きいに燃える
カラオケ愛好者たち



普段から常に歌っている人、今日のために練習を重ねてきた人と色々だ

カラオケに盛り上がる

十八番唄えばみんなご機嫌で

それとともに花火の映像終了後のカラオケで楽しむ会にも人気が集中しています。中

良野会のみなさんは、平素からかなり喉を鍛えている様子が伺えますが、この日のために練習をして臨む人も少なくないようです。

各ふるさと会からの参加も多くなつて、「大曲の花火」は、大仙市として取り組む大きなイベントに成長しました。そのような意識がどんどん大きくなつて、今では大仙市民がこぞつて「おらほの祭」と考えるようになってきています。花火大会に先駆けて開催される花火ウェーブのイベント、花火の翌日は大仙市や仙北市各地の観光地が賑わう傾向が強くなっています。「大曲の花火」を今以上に、大仙市あげての一大イベントにしたいもので

「お料理」と「おもてなし」にまごころ込めて グランドパレス川端グループ

秋田県大仙市大曲浜町7-39 TEL 0187-62-0354

心に残る真心のサービス
グランドパレス川端
未体験のゆとりとやすらぎ
山の手ホテル
心のふれあいで四季を彩る
フォーシーズン

自然と融合した、芸術性が高く、感動を創造できる空間
ブライダルハウス『フォレスト』
西山の杜でしめやかに
葬祭千の川『顕彰庵』
大切な人のために
葬祭千の川『沙羅』



コースは大曲地区市街地を大きく一巡する22.8キロコースと10.7キロコース。写真はタミヤスポーツ店前のスタート。これでたすきをつなぎ、コースを一周してスタートとほぼ同地点の大仙市役所武道館前にゴールする

ふるさとの 話題



大仙市制施行記念 第13回 駅伝競走大会開く

平成の大併合の掛け声の中で、旧大曲市を中心に旧仙北郡内の8市町村が合併して出来た大仙市。誕生10周年の祝

賀大会を開催したのもつい昨日のように思い出されます。大仙市誕生を記念して開始された駅伝競走大会も、今年で第13回を数え、6月4日(日)、初夏らしい風の中で爽やかに熱戦を開幕しました。

大会は中学生(男、女)、高校生、女子、一般、マスター、地域対抗の7部門。県内外のアスリートが参加する22・8キロコースを一周するハイレベルな大会。(女子と地域対抗は10・7km)高等学校は角館高校Aが優勝しました。

新一年生1210人

大仙市の小・中学校入学式

大仙市内小・中学校の入学式は、今年4月6日から10日にかけて行われ、それぞれの地区の学校で新入生たちが希望に胸を膨らませ、新しい生活をスタートさせました。

このうち、中仙地域の豊川小学校(太田博史校長先生)には1年生が二人、新しく仲間入りをしました。4月7日に行われた入学式では、新1年生が先輩や先生たちの温かい拍手に迎えられて、少し緊張気味でしたが、とっても嬉しそうな表情で入場しました。



交通の便よし、生活環境よしの四ツ屋で暮らしませんかと呼びかける四人衆

れ、歌やステージ発表で新入生を楽しませました。

平成29年度、大仙市内の小・中学校に入学した児童生徒は、小学校580人、中学校630人、合わせて1210人です。

の地の住み易さを紹介。また四ツ屋には絆を深める行事が沢山あるとして、地区民大運

動会や数々のスポーツ大会、活発な公民館活動をあげています。毎年10月の「四ツ屋まつり」は、子どもから大人まで参加できるまつりとしてハンドブックの中心です。

四ツ屋地区「移住・定住ハンドブック」を作成

各地域の人口減少が心配される昨今、各地域では永住定住を促進する活動が積極的に行われています。

大仙市四ツ屋地区では、四ツ屋地区コミュニティ会議など諸団体が協力し、移住・定住ハンドブック「YOTSUYA LINE」を作成しました。A2判の厚紙を八つに分割したオールカラー版。

宮崎県から四ツ屋に移住して来た橋本美怜さん、埼玉から移住の阿部孝宏さん。そして地元在住の小澤はるかさん(新谷地)、高橋邦彦さん(下新谷地)の4人を通して、こ

裏面全体は国道105号線に添ったこの地域の絵地図で、学校、病院などの日常生活に直結した建物、商店、食堂などもよくわかります。背景は出羽丘陵とその裾を流れる玉川の清流を写真で紹介し、臨場感溢れる親しみある構成です。

秋田の心を醸す
出羽鶴
雪藏銘醸
伝統の銘酒
大地の恵みとともに

<http://www.igeta.jp/>
e-mail info@igeta.jp

秋田清酒株式会社
TEL 0187(63)1224
FAX 0187(66)2277

秋田県大仙市芦田町字天ヶ沢八三の一
お酒は二十歳になつたら、お酒をおいしく適量を。
お酒は未成年の飲酒はお控えください。

—大仙市で活躍する企業訪問シリーズ⑬

嶋田ハム本社とレストランシマダ

大曲駅から歩いて10分。本社とレストラン（2階）の建物に統一して工場。レストラン店内はヨーロッパ風の落ち着いた色調で統一され、出来立てのハムやソーセージが味わえる。



「伝統的なソーセージづくりの技法を日本人に修得できるわけがない」

創業者 嶋田耕治代表

「いや、そんなはずはない
俺が修得してみせてやる！」



会社概要

設立 昭和52年10月1日

所在地 【本社・工場】

秋田県大仙市若竹町26-23

【直営レストラン】

秋田県大仙市若竹町26-23

電話0187-62-3278

創業者 嶋田 耕治

代表者 代表取締役 花澤 直樹

資本金 1,000万円

社員数 32名（平成29年5月1日現在）

「大曲に嶋田のハムあり」今や嶋田ハムの手造りドイツソーセージは、大仙市を代表する大曲名産の中の特急品。嶋田ハム創業者・嶋田耕治現会長の、潔いまでの職人魂と努力の結晶が実を結び、ドイツと気候風土の似通う大曲の地で見事に花を咲かせました。

ドイツ伝統手造り製法のマイスターに師事

—嶋田ハムの創業はいつですか。創業者はどなたでしょうか。

嶋田代表（以下嶋田） 創業は昭和52年で、10月1日が創業記念日となっています。創業者は、当社代表取締役の私・嶋田耕治です。

—嶋田代表のご出身地はどちらでしょうか。

嶋田 私は秋田県仙北郡美郷町、その当時は六郷町です。一九三七

お馴染みの「ボク ドイツソーセージ」。
多くの人になじまれて、売れ行きも好調。
嶋田ハムの中でも、もっともドイツ風味
を強く感じる一品



嶋田ハムは会長と社長が最前線に立ってモノづくりに励みます。
商品づくりに妥協のない、この企業のモットーが生きています

年ですから昭和12年生まれです。
— 創業までのいきさつをお伺
いいたします。

嶋田 一九六八年、私はドイツで雑の高等鑑別師として仕事をする傍らドイツ語をマスターしました。そのうち、食品機械メーカーの依頼で、展示会の日本人向けの通訳を頼まれるようになりました。そうしているうちにドイツ人たちが、「伝統的なドイツソーセージづくりの技法を、日本人に修得できるはずがない」という意味のことを言つて、いるのを何度か耳にし、日本人には、この伝統的な味はわからずがないと馬鹿にされたような気がして、「そんなはずはない。よし、それならその技法を、日本人の俺が修得してみせる！」と、一念発起したのがそもそも始まりです。

— それはすごい。感動！ 味に対する日本人の意地ですね。

嶋田 ええ。そこで早速、ドイツソーセージを、ドイツの伝統製法で手造りしているマイスターに師事しました。長年にわたり、厳しい修行する日々が続いていましたが、よいよ日本に帰ることになりました。

手作り ドイツソーセージ 嶋田ハム

嶋田 出身地の秋田は、燻すことによつて食品の保存性を高めるという、ドイツと共に

燻すことによって保存性を高める食文化

嶋田 ソーセージの伝統技法をどうしようとしたのですか?

帰国するきっかけとなつたのは、6歳になつた長女に、日本の小学校で日本の教育を受けさせたいということからでした。日本人ですからね。

嶋田 一口食べて、「本場のソーセージは旨いなあ」と思いました。50年ぐらい前のことは、日本にはまだ美味しいと思えるソーセージやハムを店頭では見かけることはな

の食文化が根付いていたために、ドイツで学んだソーセージやハムの伝統技法を活かせると思い、地元の秋田で立身することを決意しました。

嶋田 ドイツに渡り、初めてドイツソーセージを食べた時の感想は……。

ドイツと大曲の気候 風土はよく似ている

嶋田 ドイツと大曲の気候風土は似ているのでしょうか。それはどういう点ですか。

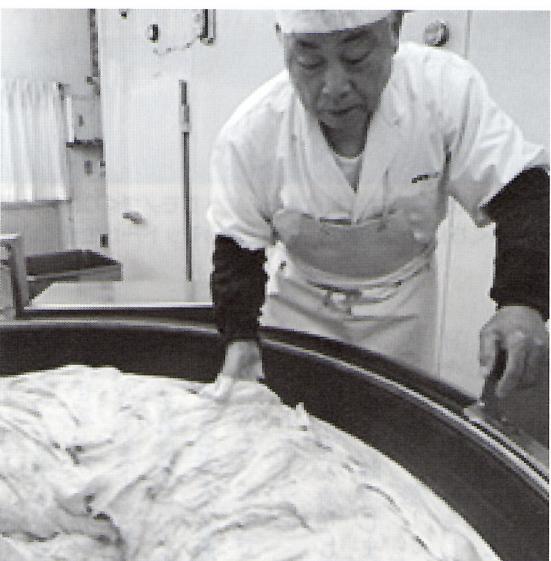
嶋田 まず雪国であること。



スモークハム・ベーコンは原料にスパイスをすり込み、約30日間漬け込みその後、おがくすを使ってじっくり18時間かけて燻煙(くんえん)する



嶋田会長はマイスターの教えとドイツ伝統を守り、今でも毎朝1時に始まる製品の仕込みは、先頭に立って従事する



ソーセージの味の決め手は練り加減。自社で調合されたスパイスを練り込んで、嶋田会長自ら手で仕上がりを確認する

美味しく製品をつくるために妥協はない

トー」は向でしようか。

嶋田 出身地の秋田は、燻すことによつて食品の保存性を高めるという、ドイツと共に

かつたし、種類も少なかつた。それがドイツの店頭には、ずらりと並んでいる種類の豊富さにまず驚きました。

現在日本では、大手メーカーのソーセージは、形が短い粗挽(あらびき)ソーセージがほとんどですが、ドイツソーセージは、太くて長い絹挽(きぬびき)になつてゐるものが多いのです。

そして森の恵みを活かした食文化が根付いていることです。材をスモークすることにより、風味を豊かにして、更に保存性を高めることです。秋田は「いぶりがっこ」、ドイツでは「ハムやソーセージ」といった具合です。

嶋田 御社の主な製品を紹介ください。

嶋田 主な商品はソーセージやハム、ベーコン、レトルト食品です。中でも一番の人気ソーセージは、トルコやパキスタン産の天然羊腸を使い、職人が丁寧に絹挽きに練り上げた

具材を腸詰めしています。
— 御社独特の製法はありますか。

嶋田 腸詰めの食感にハリを出す出すために器械を使つたひねりは行わず、手作業でひねることにより、均一なハリをもたらします。また薪を使つて3時間、直火であぶるよう燻煙をして焼き上げます。直火で燻煙をすることで、香ばしい風味が広がります。

嶋田ハムのモットー

美味しい製品をつくるために妥協はない

トー」は向でしようか。



各工程を経て出来上がったソーセージを一本一本検品し、それを手作業で袋に詰めていく

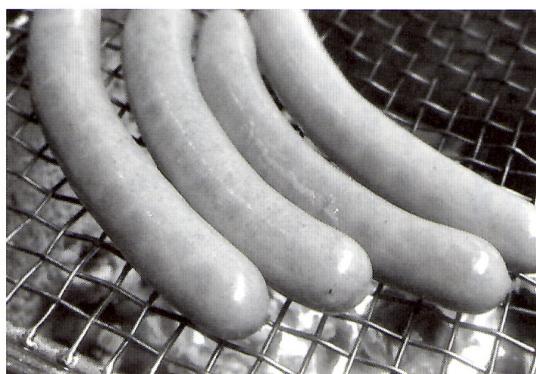
嶋田 明文化したものはありません。しかしながら創業以来わが社は、「美味しい製品を造るために、手間がかかるうとも妥協しない」という姿勢を変えないことです。だからこそ、会長、社長が率先して職人となって仕事の最前線に立ち、ものづくりに挑戦しているのです。従業員には、ハリのある食感を求める腸詰

め作業を一本一本丁寧に行うよう求めています。

— 直営の牧場があるそうです
が……。

嶋田 直営の牧場は、大仙市南外上巣ノ沢にあります。牧場では年間千羽の比内鶏と繁殖用黒毛和牛を、これも年間41頭飼育しています。

— 主な販売地域はどちらですか。



つやつや輝くソーセージを
炭火で焼いて、ビールをぐいっと
一杯。如何ですか

嶋田 従業員は今年5月1日現在、32名です。役員5名、

— 従業員の構成について。
買い求め続けていらっしゃる方もあります。

— 従業員は今年5月1日現在、32名です。役員5名、

で、日本橋高島屋や日本橋三越の各デパートで購入されたお客様の中には三十年以上お

部デパート、三越伊勢丹デパートの札幌店、名古屋高島屋デパートでも販売しております。

— 従業員の通勤範囲について

正社員16名、パート11名。男性11名、女性21名です。年齢別では、10~20代4名、30代5名、40代8名、50代7名、60代6名、70代以上が2名です。

— 従業員への厚生活動や地域住民との触れ合い等は。

— 従業員への厚生活動や地域住民との触れ合い等は。

すところは、「日本一美味しいソーセージやハムを製造すること」です。

— 地元大仙市へのコメントをお願いします。

嶋田 本社の製品はここ大仙市にあるからこそ、その品質を守り続けることができる製法です。地域の皆さまのお力を借りしながらこれからも、「美味しい」と言われる製品造りに邁進してまいります。どうかこれからも引き続きご愛顧を、よろしくお願ひいたします。

お忙し中を取材にお付合いくださいまして有難うございました。ドイツソーセージの本場に独り乗り込んで、その製造法を果敢にマスターしたご努力。技術を維持継承するため、嶋田耕治代表のあくなき情熱に感動しました。大仙市大曲の地で、まさに日本のハム、ソーセージが造られていることを、私たちは誇りに思います。手作りドイツソーセージの嶋田ハムさんが、益々発展されますよう心から祈り、期待いたします。

日本一美味しいハム やソーセージの製造

— 今後の運営方針は如何ですか。

嶋田 伝統的な直火燻煙で

ソーセージやハムを製造する技術を守り、更にお客様に喜んで頂く製品を造り続けることで、購入者からご愛顧頂く

されることです。わが社の目指

(大釜茂樟)

私たちのふるさとが いきいきと輝くために

自分の生まれ故郷を聞かれ、胸を張つて「○○です」と答えられる人は大変幸せな人です。さあ、あなたは「どちらの生まれですか」と聞かれて、「はい、大仙市です」または「大曲です」と大きな声で答えること出来ますか。私は、胸を張つて大きな声で答えることができ。するとほとんどの人は「ああ、花火のまちですね」「お、あの花火で有名な」と親しげに、あるいは羨ましげに見てくれます。

そういう時の何とも言えない優越感。大曲に生まれて良かったとつくづく思います。

今年、東京のある出版社のまとめた「住み良い都市ランキング」で大仙市は、全国814都市中で37位、東北地方で4位、県内ではトップだったと、先日老松市長が話してくださいました。この話を聞いた時私は、大仙市民の生き生きとした明るい顔を思い浮かべました。これは、市民は勿論、大仙市に関わりのある人々の協力で得たランキングだということに気付いたのです。昨年九百万円だったという大仙市への「ふるさと納税」はこういう形で活かされているのだと思いました。(大釜茂樟)

ふるさと納税に 積極的に 首都圏大曲会会員は協力しよう!



「ふるさと納税文庫」に喜ぶ中学生(南外中にて)

大仙市のふるさと納税 活用とする五つの分野

大仙市は次の五つの分野で納められた資金を市の未来に向け効果的に活用します。

【観光分野】 大仙市の魅力ある観光資源を活用した観光交流事業の発展のために。

【高齢者福祉分野】 高齢者時代を迎えた地域が支える高齢者福祉事業の充実のために。

【自然環境分野】 次代に残す大仙市の、この豊かな自然環境の保全事業のために。

【子育て教育分野】 健やかな成長を願う子育てと、大仙市が誇る教育の充実に関わる事業の充実を進めるために。

【定住促進分野】 魅力あるまちづくりと若者たちの定住促進のために。

申込み方法、入金方法 が便利になりました

- ・インターネットを使って申込み受付がご利用できるようになりました。
- ・クレジットカード決済による寄付金の入金が可能です。
- ・直接お申込みいただけます。

「ふるさと納税文庫」 の整備は今年も実施

「ふるさと納税」として 寄附の手続き法

1 寄附申込み書による 申込み

- 寄附申込み書に必要事項を記入し、郵送、FAX、または電子メール、もしくは大仙市役所まちづくり課へ直接お申込みください。
- 申込みの際に、入金方法など寄附金の払い込み方法をお知らせください。
- 寄附申込み書は、大仙市役所のホームページからも入手できます。

2 納付書の送付

- お知らせ頂いた寄附の方法に基づき、まちづくり課から納付書をお送りします。
- 納付書により、最寄りの金融機関等をご利用ください。

3 寄附金のお振込み

- 寄附して頂いた皆さまには後日、大仙市役所から寄附証明書を発行・送付します。

4 寄附証明書の発行

- 寄附して頂いた皆さまには後日、大仙市役所から寄附証明書を発行・送付します。
- 【問合せ・申込み先】
〒014-8601
大仙市大曲花園町1番1号
大仙市役所まちづくり課
電話 0187-63-1111
Fax 0187-63-1119
メール：machi@city.daisen.akita.jp



市職員の拍手に迎えられ、初登庁する老松大仙市長

◇老松市長の所信表明演説から
(市広報「だいせん日和」5月号より抜粋)

明日の大仙を拓く2つのチャレンジ

- ① 大仙市のすべての地域を
すみずみまで元気にする
まちづくり
- ② 市民のみな様が住み良さ
を実感し、将来に希望が
持てるまちづくり

◇

栗林次美前市長が病気治療のために3月6日付けで退任されました。その後を受けて4月9日、市議会議員の補欠選挙とともに市長選挙が行われたことはご存知の方も多かったと思います。その結果、前副市長の老松博行さんが初当選しました。任期は平成29年から平成33年4月8日まで。

大仙市は平成27年度に策定した「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、「雇用創出」「移住・定住促進」「子育て支援」「地域コミュニティの維持」を基本目標に掲げました。新市長もその取り組みは、引き続き着実に進めていくと明言しています。

大仙市市長に老松博行さん就任

花火の街から



そして老松市長は、これらの施策で評価の高いものは継承し、大仙市が次のステージに飛躍するためには、従来にない構想によるチャレンジも必要と考えています。最初に掲げた二つのチャレンジは市長の所信表明の中で述べられて、大仙市全体の発展を考える基本姿勢です。私たちも大仙市全体の発展

は大きな夢の実現であることに思いを馳せ、他地区のふるさと会とも連携を強めていくことが大切です。

☆老松博行さんプロフィール
(おいまつひろゆき) 1955年(昭和30)1月24日生まれ。横手高校から北海道大学農学部進学・卒業。1977年(昭和52)、旧大曲市役所に入職。同所で農政課長、財政課長。市町村合併後は大仙市で会計課長、総務部長を歴任。2012年(平成24)から副市長に就任。40年間に亘る豊富な行政経験を持つ。大曲地域の川目地区出身。

大仙市アーカイブス 開館!

(市広報「だいせん日和」6月号より抜粋)

平成19年から大仙市が計画を進めてきた「公文書館大仙市アーカイブズ」が5月3日、開館しました。場所は西仙北地域の旧双葉小学校校舎を改修したものです。かつての体育館は、およそ19万点を収蔵できる「大

書庫」として、新しい使命を背負って生まれ変わりました。

大仙市アーカイブズは、将来を担う子どもたちのために、公文書館の設置が欲しいという市民の声から生まれたものです。

ここには、行政文書や古文書、地域史料などをまとめて保存し、後世に残すことが目的です。改修された双葉小学校は、閲覧室や展示室、資料整理作業室などを備え、かつての体育館はおよそ19万点を収蔵できる「大書庫」に生まれ変わりました。

今後は公文書を評価選別し、古文書など地域の記録を受け入れ、順次保存・公開していくほかに、過去の映像や写真なども保管・公開し、市民にアーカイブズの存在意義と価値をPRしています。開館式には公文書館設置関係者や、大仙市内各所から集まってきたいろいろな資料の整



公文書館完成を祝うテープカット

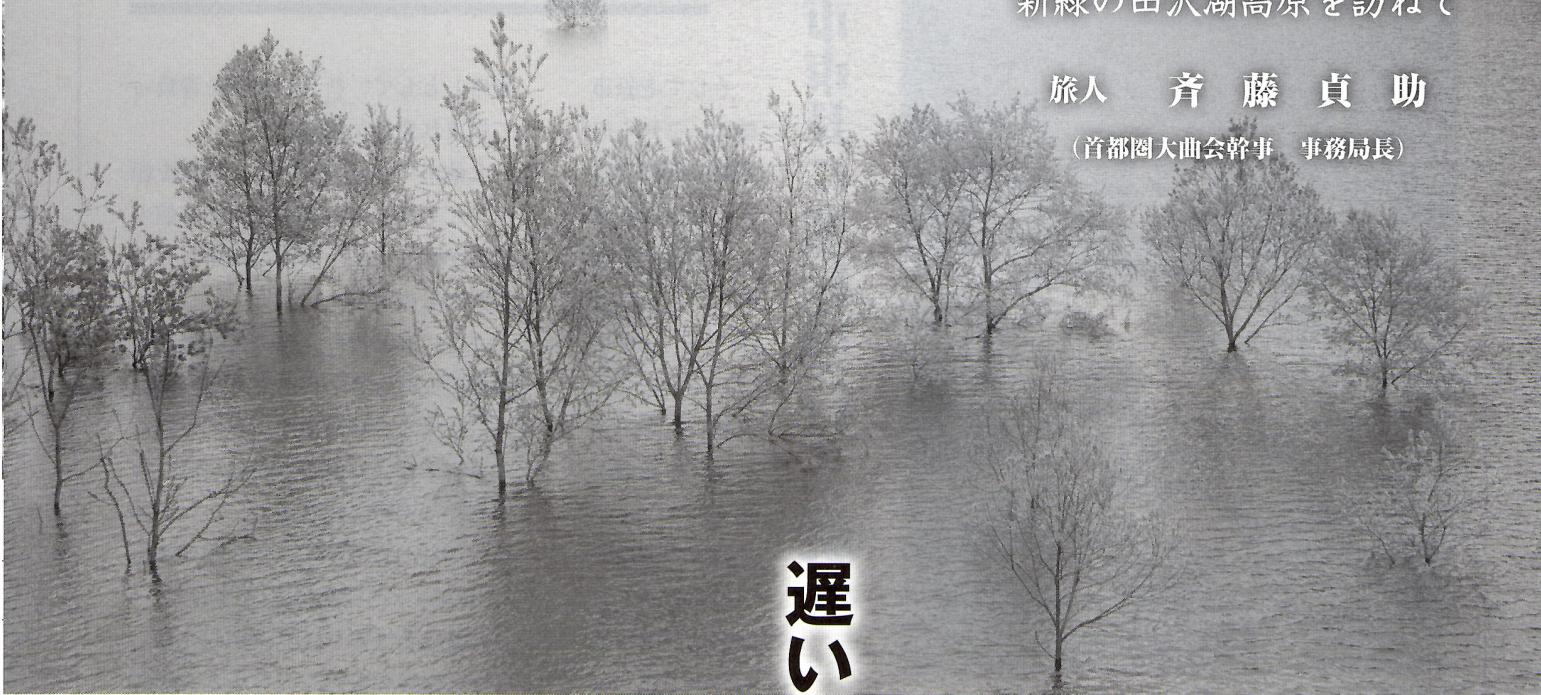
理に携わった市民ボランティア、市の関係者など約130名が出席しました。加藤丈夫国立公文書館長や老松市長らがテープカットをして完成を祝いました。

過去・現在・未来につなぐ公文書館・アーカイブズ。ふるさとの記録から学び、子どもたちの記憶に残るようなまちづくりのために市民と行政による、色々な利活用が期待されます。

新緑の田沢湖高原を訪ねて

旅人 齊藤貞助

(首都圈大曲会幹事 事務局長)



朝霧が少しづつ晴れて行って、静かに一日を迎えようとする
人造湖・秋扇湖の朝

遅い春が待つていてくれた

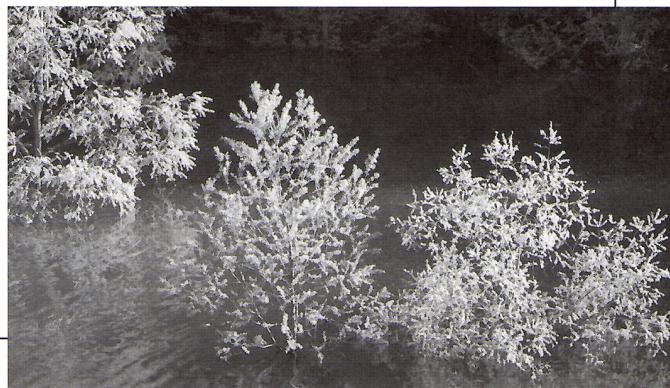
旅人として「カメラ紀行」を続ける齊藤貞助さん。本人の生まれ故郷である大仙市大曲にほど近い田沢湖高原へ、撮影道具一式をリュックに詰め込んで出かけたのは、五月のゴールデンウイークの混雑を避けた5月15日からの二泊三日。宿泊した田沢湖畔のホテルから眺める秋田駒ヶ岳(1,637m)は残雪で真っ白。雪融け水をまんまと蓄えた田沢湖は、周囲の山々や湖畔の樹木の新緑を水に映して静かだ。

カメラの被写体として目指すは田沢湖高原、小蟹沢一帯の鎧畠ダム(秋扇湖)である。鎧畠ダムは秋田県仙北市、一級河川・雄物川水系玉川上流部に建設され、一九五七年に完成した。鎧畠ダムよつて形成された人造湖は、一般公募によって秋扇湖と命名された。この湖水は、湖獨特のコバルトブルーで知られる。



人造湖の特徴は、水中に沈められた木が水中で成長し、やがて水の上にまで成長した姿を見せる光景である。水上にまで伸びた枝も春になれば枝を伸ばし、葉を茂らし、鳥が巣をつくる

鎧畠ダム(秋扇湖) よろいはたダム、よろいばたダム、二通りの呼び方があるが、地元では後者で呼ぶ。湖水がコバルトブルーで知られる秋扇湖は、玉川の酸性水中和のために、源流部で石灰を使って中和を行っているのである。





5月も半ばを過ぎたところにあたりは
見事に桜爛漫。今年一度目の春を満喫



鎧畠ダム・秋扇湖へは、秋田新幹線田沢湖駅からバスで「鎧畠ダム入口」。そこから徒歩30分。私たちは仙北市角館在住で、自然を被写体に撮影する小松ひとみ先生の案内と指導を受けることが出来た。新緑を狙うにしても、秋扇湖のコバルトブルーの水面を撮影するにしても、光の影響は微妙である。夜が明けて日の光りが来るのを、じつと一時間以上も待つこともあった。やがて日を強く感じるようになると、新緑に彩られた木々の枝や葉の一枚一枚までが鮮やかに輝きだす。そのエネルギーが、シャッターを押す指先から身体の隅々にまで行き渡り、そして突き抜けていく偉大な大自然の力を感じるものだった。



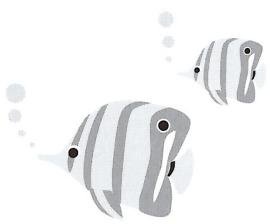
更に山深く進むと雪融けの水を集めて滝の音が聞こえてきた。マイナスオゾンを浴びて桜は一層なまめかしい

撮影旅行中の天候はすこぶる快晴が続いた。5月も中旬といえば、東京あたりはもちろんのこと、田沢湖町や田沢湖の周りは、すっかり初夏を迎える様相を呈していた。鬱鬱とした神社の森や土手の蔭にも若草が伸びて、消え残った雪すらも見られない。ところが秋扇湖からその奥の景色は変わった。そこには爛漫の桜が春風に揺れる景色があった。遅れてやって来た春の女神が寝ぼけたか。それとも遅れてやつて来た私たちを、余裕ありげに待つてくれたものか。

5月の桜は湖に重厚な影を映して、旅人達に遅い春の喜びを提供することを、懐深い大人の喜びとして私たちに見せてくれたのかも知れない。

がんばってま～す

首都圏大曲会 仲間たちの話題



齊藤のりこさん撮影
作品「夕凪」

Nostalgia ノスタルジア

Nostalgia
ノスタルジア

齊藤のりこ
Noriko Saito

風景写真出版

齊藤のりこさん 写真展

大曲会総会のカメラを担当

毎年、7月あるいは8月に帝国ホテル東京で開催される首都圏大曲会総会兼懇親会で、カメラマンとして貴重な記録を残してくれる齊藤のりこさん。今年6月、東京・銀座の富士フォートギャラリーで、初の個人

作品展を開催しました。

齊藤さんは美しい自然風景の中に、女性らしい繊細な感性を内面に潜め、静謐な作品の写真家としても知られています。毎年の首都圏大曲会総会のカメラをお願いして映像記録を担当してくださっています。写真展のテーマは「ノスタルジア」。山形県鶴岡市で多感な少女時代を過ごした郷愁が、レンズを通して自然

を慈しむ、女性らしい感性溢れた、優しさと温かみの残る写真展でした。

齊藤のりこさんは写真展と同時に写真集「nostalja ノスタルジア」を、風景写真出版（東京・文京区）から刊行しました。「感動を呼ぶ物語、情感を表現でき、多くの方と想いを共有できる写真が残せているならば嬉しい」と、齊藤さんはこの写真集の「あとがき」で述べています。

旬の秋田が高輪に。

Dining & Shopping

あきた美彩館

Akita Bisaikan

京急本線品川駅 JR品川駅 高輪口 徒歩3分

東京都港区高輪4丁目10-8

ウイング高輪WEST-III 1階

TEL 03-5447-1010 <http://www.akita-bisaikan.jp/>





二代目 藤丸東風さん

「民謡功労章」を受賞

首都圏大曲会でも尺八演奏

首都圏大曲会でもお馴染みの民謡歌手千葉とし子さん（会員）の夫で、若手の津軽三味線演奏家畠山光洋さんの父である二代目藤丸東風さんが、平成28年度「民謡功労章」を受賞しました。この賞は、公益法人日本民謡協会が制定する賞で、これまで民謡界に大きな貢献と足跡を残した人に与えられる名誉ある章です。

千葉とし子さんは毎年の首都圏大曲会の総会で、会員にはすっかりお馴染みの秋田民謡を披露してくださることで絶大な人気を誇っています。「生保内節」は秋田県の民謡を代表する一つですが、彼女の歌う「生保内節」は大仙市を古里とする人ならば誰もが郷愁をそぞる民謡として、また心を浮き立たせる歌として歓迎されます。最近は子息の畠山光

洋さんが津軽三味線の演奏家として腕を上げ、威勢の良い若手の津軽三味線は人気を呼んでいます。

平成19年に尺八の二代目藤丸東風を継承し、首都圏大曲会の総会でも妻子と共に、毎年出演してくださっていることから、民謡ファンの多い首都圏大曲会には、尺八の音色に心を揺さぶられる会員も多いのです。

今年3月25日、千葉市の京成ホテルミラマーレで二代目藤丸東風さんの受賞を祝う祝賀会が開催されました。大勢のファンや関係者が出席して盛大な祝賀会となりましたが、二代目藤丸東風さんは「日本人の古来からのかの心の支えである民謡文化を、大切に次の世代に継承し、その発展に一層尽くしたい」と謝辞を述べていました。アトラクションでは大勢の民謡歌手とともに、千葉とし子さん、畠山光洋さんを交えた家族出演で大きな拍手を浴びていました。

新宿の大久保スポーツ プラザで月例落語の会

三遊亭遊里さん（二つ目）

滝川鯉佐久さん（前座）

大曲出身の三遊亭遊里（さんゆうていゆうり）さんは二つ目の落語家。

師匠は落語芸術協会副会長を務める三遊亭小遊三さん。というよりは、日曜日夕方のテレビ番組「笑点」で、司会の春風亭昇太に一番近い席に座って、「福山雅治と間違われる」と笑いをとる落語家で人気がある。遊里さんは、平成21年に小遊三師匠に入門し、前座名は「小曲」（こまがり）。平成25年8月に中席二つ目に昇進して現在の名前に改めました。結婚して子供は二人。

◎今後出演の落語会

今年7月上席 夜の部は池袋演芸場の高座を務め、8月は次の通り。

8月1~5日 浅草演芸ホール昼の部

8月6~10日 浅草演芸ホール昼の部

他にNHK総合TVで8月12日午後7時30分からの放送劇「1942年のプレイボール」に出演予定。この日前座として高座に上がった落語家は滝川鯉佐久（たきがわこいさく）さん。鯉佐久さんは秋田県稻庭町の出身、滝川鯉昇一門のお弟子さん。秋田県出身の落語家はこの二人を入れても5人しかいないとか。鯉昇師匠の話芸に憧れて入門。立派な噺家を夢見て修行の最中です。

心と心のふれあいのスペース

心晴れ、ご宿泊・レストラン・ナイト
各種ご宴会に/トド

ご利用をお待ち申し上げます。
大曲エンパイアホテル

〒014-0015 秋田県大仙市大曲白金町8番17号
Tel 0187-63-1131 Fax 0187-63-1541
URL <http://o-empire.com/>

外国人技能実習生受入団体

SKYBLUE

スカイブルー協同組合

SKYBLUE COOPERATIVE

事務所長 赤木 達司

TATSUSHI AKAGI

E-mail/dc284752@kg8.so-net.ne.jp

□東京事務所

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂4-4-2 ラウスパレス 三軒茶屋901

TEL 03-6413-8527 FAX 03-6413-8537

株式会社 三和

株式会社三和は
首都圏大曲会を応援します！

代表取締役
斎藤 昭彦

〒107-0052

東京都港区赤坂2丁目17番65-411号

TEL：03-3586-8055

FAX：03-3583-1594

思い出の中の大曲



昭和30年前半頃の

タカヤナギ界隈 混雑する通り

(提供者) 鈴木 繁さん (上尾市在住)

力強く汽笛を響かせて大曲駅に列車が入つて来る。蒸気機関車だ。停車した列車からは、まるで吐き出されたように大勢の乗客が降りて来る。石炭の匂いのする真っ黒な煙と白く湿った蒸気が、コンコース越しに、街の通りまで

募集中です。記事取材やインタビュー、写真、レイアウト等に興味・関心のある方は、ぜひご協力ください。
ご連絡は左記まで。(担当 大釜)

電話 03(3341)6339
Fax 03(6273)0081

eメール : info@e-prosjp.com

『ふるさと大曲』編集スタッフ募集中!

首都圏大曲会は会報『ふるさと大曲』の編集協力者を募集中です。記事取材やインタビュー、写真、レイアウト等に興味・関心のある方は、ぜひご協力ください。

電話 03(3341)6339
Fax 03(6273)0081

電話 03(3341)6339
Fax 03(6273)0081

eメール : info@e-prosjp.com

『ふるさと大曲』編集スタッフ募集中!

地方都市で国際会議を開催し、それが大成功だったとなると、それはその土地に箔がついたということだ。四月に開催した「第16回国際花火シンポジウム」は、まさに花火のまちに相応しい中身の濃い祭典だった。合わせて行われた「大曲の花火～春の章～」も華麗で見事だった。関係した方々に衷心から敬意を表します。▼八市町村によって大仙市が誕生して十三年になる。市民を初め大仙市を古里にする人のアイデアで、大曲の花火の存続を守るために、花火大会を始めた。東京で大曲の花火を観る会も、最近は盛況を呈している。▼大仙市で活躍する企業は、お馴染みの嶋田ハムを訪問した。ドイツにおける嶋田会長の頑張りに成功者の誠実な意地を感じた。(大釜)

『ふるさと大曲』第23号

平成29年7月29日発行

編集人：首都圏大曲会 発行人：大釜茂璋

〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6

教育情報プロジェクト気付

電話：03-3341-6339 Fax：03-6273-0081

eメール：info@e-prosjp.com http://www.supportlife.info

印刷・製本：秋田協同印刷株式会社

編集後記

憩い 安らぎ 癒しの宿

秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを備えた趣のある宿として大変喜ばれています。

014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-1
電話0187-46-2740



秋田・田沢湖・抱返り渓谷 県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や渓流を見ながら緑に染まる木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか10室。

全室抱返り渓谷を見ながらのかけ流し露天風呂付きという、人里離れた理想の、くつろぎの宿です。

014-1113 秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
電話0187-44-2220